

## 平成24年度 第3回化学教育FD／ICT活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成24年8月29日(水) 17:30～20:30

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：幅田委員長・堀合副委員長・及川副委員長 (skype)・庄野委員・武岡委員・木村委員・小林委員  
(事務局) 井端事務局長・森下主幹・松本職員

IV. 議事録承認

平成24年度第2回委員会会議議事録案が提案され、承認された。

V. 議事概要

(1) 委員長の開会挨拶

(2) 本日の議事録担当が指名された。

(3) 本日配布の会議資料について事務局から説明があった。

(4) 11月出版予定の大学教育への提言報告書における「化学教育における学士力の考察について」の背景・解説文を、各担当者が作成した原案に基づき検討し、最終案を作成した。

①「化学教育における学士力の考察について」の冒頭に掲げる全体の背景・解説文を、加筆修正案に基づき検討した。その際、次のような意見が出された。

- 本委員会で策定した「到達目標1・2・3」を、どのような背景で構成したのかを中心に解説する。
- 「学士力の考察」なので、具体的な教育方法論、教育改善モデルまで、あまり踏み込んで言及しない方が良い。
- 一般的な化学の役割・意義を最初に述べ、次いでこれからの化学教育が目指すべき到達目標をどのように設定したかを解説し、これらを受けて最後に本委員会で策定した「到達目標1・2・3」を列記するような文章構成が望ましい。
- 分量はA4版1ページの2/3程度になるようにする。
- これまでの化学教育を否定するような表現は避けた方が良い。
- 本委員会で策定した「到達目標」は「一般レベル」と「専門レベル」に分けて考察しており、これは他の分野にはない特徴なので、このように分けた経緯・理由がわかるような解説文が望ましい。
- 「一般レベル」は文系学生など化学を専門としない学士教育を意味することが、初出では少しわかりにくい語句なので、解説文の中では「化学リテラシー教育」という語句で置き換えた方が良い。

以上のような議論、検討を踏まえて、全体の解説文の最終案を作成した。

②「到達目標1」の解説文を、原案に基づき検討した。その際、次のような意見が出された。

- 「学士力の考察」なので、具体的な教育方法論、教育改善モデルには言及しない方

が良い。また、表記統一のために「ここでは」から始まるようにする。

- 冒頭の全体解説文となるべく重複しないように、「到達目標1」に固有の解説にする。

- 「一般レベル」、「専門レベル」両者に共通する到達目標であり、大学学士課程のすべての学生が到達すべき目標を定めたことがわかるように、数行程度で解説する。以上のような議論、検討を踏まえて、「到達目標1」の解説文の最終案を作成した。

③「到達目標2」の解説文を、原案に基づき検討した。その際、次のような意見が出された。

- 「学士力の考察」なので、具体的な教育方法論、教育改善モデルには言及せず、なるべく一般的な内容にした方が良い。また、表記統一のために「ここでは」から始まるようにする。

- 「専門レベル」の到達目標であるが、できるだけ専門用語は使わずに、誰が読んでもわかるような表現にして、簡潔に解説する。

以上のような議論、検討を踏まえて、「到達目標2」の解説文の最終案を作成した。

④「到達目標3」の解説文を、原案に基づき検討した。その際、次のような意見が出された。

- 「到達目標3」にある「持続可能性」という語句は、単独では何を意味するのかわかりにくいので、「到達目標3」から削除した方が良い。

- 「専門レベル」の到達目標であることから、「到達目標3」にある「物質を適切に活用する」を「新しい物質を理解し、その創成技術の修得」として例を挙げながら解説する。

- 「到達目標3」にある「安全性・信頼性などに配慮して」を解説する場合、あまり負のイメージを植え付けないように配慮する必要がある。「理論的な評価を行い、高い安全性と信頼性を前提とした社会の持続的な発展に化学的観点から貢献」と解説する。

以上のような議論、検討を踏まえて、「到達目標3」から「持続可能性」という語句を削除することとし、「到達目標3」の解説文の最終案を作成した。

上記①～④の解説文最終案は、新たに「④ 化学教育における学士力の考察について 委員会作成 2012.08.29」としてまとめ、出席者に配布された。なお、細かな表記、文言などの修正が必要であれば、後日修正することとした。

## VI. 次回委員会までの課題

本日の配付資料「化学教育における教育改善モデル（その1）、（その2）」の中の「2.2 授業の仕組み」をわかりやすく解説するイメージ図（概念図、流れ図など）の原案を、次回委員会までに作成することとなった。

Ⅶ. 次回委員会

次回委員会は次の通り開催することとなった。

日時：平成 24 年 10 月 1 日(月) 17:30～

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上